

競技注意事項

競技会の進行

1. 本大会は2026年度（公財）日本陸上競技連盟規則に準ずる。
2. トラック種目の組み合わせ、レーン順およびフィールド種目の試技順は、主催者において定める。
3. フィールド競技の試技順は、プログラム記載通りとする。

競技への参加

4. 各学校の陸上部顧問又は所属校の教諭、学校長が認めた責任者による引率のない場合、出場を認めない。
5. 競技者の招集は以下のとおり行う。招集所はゴール地点後方のゲートを出て、右手前方付近に設置する。

	開始時間	終了時間	リレー種目のオーダー提出
トラック	30分前	20分前	60分前
フィールド	40分前	30分前	

・代理人による手続きは認めない。種目をかねて出場する者はその旨を競技者係および審判員に申し出て競技の進行に妨げがないようにする。リレー種目では、オーダー用紙を招集競技開始60分前までに招集所の競技者係まで提出する。提出後のオーダー変更は原則として認められないので注意すること。

・リレーのオーダーは、出場するメンバーのうち少なくとも2名は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。

・招集時間に遅れた場合、出場の意思がないものとみなし、棄権として扱い、競技に参加することができない。

6. アスリートビブスはユニホームの胸・背部に確実につける。ただし跳躍競技の場合はどちらか一方で良い。

アスリートビブスの番号は、太い字で書く。**※大きさについては競技規則修正を確認すること。**

*トラック種目（リレー種目は第4走者）は、レーンナンバーを右腰部につけ使用する。レーンナンバーは各自準備する。

※写真判定で判定しやすいように太字で書くこと。

トラック種目

7. スタートについて競技規則162条5(a)(b)(c)を行った時、イエローカードを示し、警告を与える。ただし、(c)のいわゆる「ピクつき動作」を行った場合、最初は注意に留めるが、繰り返す場合はイエローカードを示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
8. 3000m以上はアスリートビブスではなく、各自でレーンナンバーカードを作成し使用すること。
9. 800m以上の種目において、招集の際に靴底の厚さの確認を行います。レースに使用するシューズを持参の上、招集所に集まること。※シューズの規定を必ず確認してください。

フィールド種目

10. 競技用具は競技場備えつけの物を使用する。但し、持参した用具で使用を希望する場合は本部にて検定を受け、使用の許可を得ること。またその場合、他の競技者にも使用させねばならない。
11. フィールド種目の練習は、審判員の指示に従って行う。
12. 走高跳のバーの上げ方は以下のようにする。

男子	(練習) 130	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	…以降3cm
女子	(練習) 110	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	…以降3cm		

競技開始の高さについては、天候・練習状況などにより、審判長の判断で変更する場合がある。
表に記載されていない高さについては審判長の指示に従う。

13. 三段跳びの踏切は、男子11m・女子9mとするが、審判長の判断で変更する場合がある。
14. 投擲種目については、ペグを用いて最高記録のみの測定とし、一投一測定は実施しない。
15. フィールド種目の試技は3回とする。

ウォーミングアップエリアについて

16. 本競技場はウォーミングアップのスペースがないため、競技に支障のない範囲で第2コーナーから第3コーナーまでの5レーンから8レーンまでをウォーミングアップエリアとして開放する。また、雨天時は、雨天走路も開放する。事故など起こらないように周囲に十分気をつけてアップを行うこと。また、場内指令の指示には必ず従うこと。**競技場外でのウォーミングアップは、一般の方に十分注意する事。ダッシュなどスピードの速いものは禁止とする。**ハードル練習は、当該種目がある場合に限りその日の8時15分～8:45分まで実施することが可能。100mスタート付近7・8レーン、第1・2コーナー6・7レーンを使用してください。ご不明な点がございましたら本部までお声がけください。

助力について

17. ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話、もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用する事は、助力とみなされ許可しない【競技規則 TR6. 3. 2】

撮影について

18. 競技場内でカメラやスマートフォンなどを用いて撮影を行う場合は、必ず周囲から見えるようにADカードを着用してください。着用していない場合は、撮影することができません。撮影の際、ADカードを身につけていない場合や不審な状況が見られる場合は、役員から声をかけることがあります。
19. 競技者が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整えるため、競技者が不快や不安を感じる恐れのあるすべての方向からの撮影や行動を禁止させていただきます。

その他

20. 競技中に事故が発生した場合、その学校の責任において処理を行って下さい。
21. 陸上競技場以外の施設は利用できません。他の施設には立ち入らないこと。特に競技場出入口前の洋弓場付近の芝生には絶対に立ち入らないこと。陣地の設営も不可とする。
22. ゴミは必ず各学校で責任をもって持ち帰ること。ペットボトル・缶のリサイクルボックスに一般のゴミを捨てた場合は、今後大会の参加を認めないこととする。